



保護者の皆様へ

ほけんだより

令和7年1月10日

天津日本人学校保健室
養護教諭 船越 郁奈

新しい一年が始まりました。冬休みも終わり、学校には子どもたちの元気な声が響いています。今年も子どもたちの健康を保健室から見守ってまいります。何卒よろしくお願いいたします。

さて、天津でもインフルエンザ流行の兆しがみられます。学校でも手洗いうがいの呼びかけや、教室の換気、加湿など感染予防に努めてまいります。ご家庭でも健康観察にご協力いただきありがとうございます。お子さまに風邪症状など普段と違った様子がありましたら、無理をなさらず休養ください。また、38.0℃以上の高熱が見られた場合は、ご家庭の判断で病院受診をおすすめいたします。今後も、お子さまの体調面について気になることがありましたら、いつでも学校までご連絡ください。何卒よろしくお願いいたします。

感染症の流行にご注意ください!

インフルエンザ

主な症状: 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感、咽頭痛、咳、鼻水 等

潜伏期間: 約1~3日(発症直前から発病後3日程度までが感染力が特に強いとされる)

主な感染経路: 接触感染(感染者の唾液や鼻水が手から手へ、またはドアノブや物を媒介して付着し体内に入る)
飛沫感染(感染者の咳やくしゃみで出る飛沫を吸い込む)

インフルエンザの検査は発症後12~24時間以内が適しているといわれています。万が一発熱があった場合は、すぐに受診はせず、発熱後12時間以上経ったタイミングでの受診をおすすめします。

また、インフルエンザは「学校保健安全法施行規則」にて第二種感染症に分類され、出席停止期間が細かく決まっています。裏面に出席停止期間の表を載せますので、参考にしてください。



マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、特に晩秋から早春にかけて罹患者が増える傾向にあります。

主な症状: 発熱、全身倦怠感、頭痛、痰を伴わない咳(咳は解熱後も3~4週間続く) 等

潜伏期間: 約2~3週間(潜伏期間が長いので、気が付かないうちに広まるおそれがあります)

主な感染経路: 接触感染(感染者の唾液や鼻水が手から手へ、またはドアノブや物を媒介して付着し体内に入る)
飛沫感染(感染者の咳やくしゃみで出る飛沫を吸い込む)

「肺炎」と聞くと咳症状を思い浮かべがちですが、最初は発熱や頭痛、倦怠感といった症状が現れます。咳はその後3~5日後に遅れてみられ、長く続くのが特徴です。

マイコプラズマ肺炎は「学校保健安全法施行規則」にて第三種感染症に分類されています。出席停止期間は、「医師が感染のおそれがないと認めるまで」です。万が一マイコプラズマ肺炎と診断された場合は、かかりつけ医師の指示を仰いでください。



上記以外にも、法律にて出席停止が義務付けられている感染症がございます。病院にて診断を受けましたら、まずは学校へご報告ください。